

56

明治三十二年三月二十一日

REEL No. 1-0212

0049

公 借 案

文書課長 大正三年六月拾八日接受

(甲號用紙)

文書課發送 (長檢印)

主簿 大正三年六月拾八日 大正三年六月十九日

淨書 (機) 正(原稿) (淨書)

機密 大正三年六月十八日 附屬書 通

受信 大改朝日新聞社長 小村次長

人名 大改朝日新聞社長

件名 (寫來の手紙) 件

名 込 縫

お啓意、市通商ノ段奉賀候陳上者

当情報部ニ於テ今回新々ニ我國各般

ノ事物ノ寫眞ヲ蒐集スル計畫ノ下ニ

公 信 案 外 務 省

要再四

要再四

(乙號用紙) 圖

各諸方面ノ援助ヲ仰キ居リ候ニ付テハ貴

社印刷部ノ壯觀ヲ寫スル寫眞數葉

尙遣與、申得度此段市役所貴意候

敬具

追テ右寫眞ニハ簡便ナル説明ヲ市附記社下

度願上候

外 務 省

情 136.18 三

文書課長
 公 信 案
 大正三年六月拾八日接受
 (甲號用紙)
 18.6.18

文書課發送
 清原 大正三年六月拾八日發送
 主任
 (起草大正三年六月十日)
 正(原稿)
 (淨書)

機密
 普通
 號
 大正三年六月十日
 日附
 附屬書
 通

受信
 南滿洲鐵道株式会社
 理事 松岡洋右
 發信
 小村次長

件名
 (寫具入手依頼)
 名 込 縫

取寄益、市情通、役奉買候陳者我國
 各般ノ事勿シムク海外諸國民ニ周知セシム
 ル一助トシテ日本特異ノ風光ハ勿論殖産
 大正新タニ

要再

公 信 案
 外 務 省

(乙號用紙) 圓

工業其他全般ニ亙リ我國經濟發展ノ實
 勢ヲ寫セル寫具ヲ蒐集シテ主要在外
 公館ニ備付ケ隨時之ヲ利用セシムノ計畫
 ヲ進メ居リ候ニ付テ、貴下ノ市裁量ニテ
 貴社經濟ノ事業ヲ寫セル寫具數葉ヲ
 適宜(鴨綠江ノ鉄橋ニ面白カニヘシト思考致シ) 市撰
 定ノ上、市選相煩度此役市依頼得貴

外 務 省

要再

公 信 案

外 務 省

件名 写真入手方依頼ノ件 名 込 籠		受 信 人 名 台湾總督府 專賣局長 發 信 人 名 小村次長	
主 管 文書課發送 大正三年六月拾八日發送済 淨書 正校(原稿) (淨書)		主 任 大正三年六月十八日附 附屬書 通	

今般当方、於テ我國各方面ノ事知リ及ク
 海外諸国民ニ周知セシムル一助トシテ、日本
 特異ノ風光ハ勿論、殖産工業其他全般

文書課長

文書課
長檢印

大正三年六月十八日接受

(甲號用紙)

情
13.6.18
三

外 務 省

意候 敬具

進テ右写真ニ、簡單ナル説明ヲ亦附記セ

社下檢取及内依頼等

(乙號用紙) 四

第 四 号

公 信 案

外 務 省

助トシテ当情報部ニ於テ今回改メテ日本特異
般ノ事物ヲ凡ク海外諸国民ニ周知セシムルノ
お啓意ノ由情通ノ段奉賀候陳者我國各

件名 寫真入手方依頼ノ件
送 込 名 山村次長

受信 日本郵船株式会社社長 伊東末次郎
人名 東洋航船株式会社社長 津野總一郎

主 管 情報部次長 山村次長
任 主 任
號 大正十三年六月十四日附
附 屬 書 通

文書課長 文書課長 長 檢 印
文書課發送 文書課長 檢 印
大正十三年六月拾八日發送 淨書 免 正(原稿) 淨書 免
(起草大正十三年六月十四日)

六正三年六月拾八日接受 淨書 免 正(原稿) 淨書 免
付 九 次
及 度 向 依 頼 候

及 度 向 依 頼 候
追テ右寫真ニハ簡單ナル説明ヲ由附記相煩
送 平 津 皮 此 段 及 由 依 頼 候 也
ヤシタルノ計畫ハ進メ居リ候ニ付テハ貴局經營
ノ樟腦業 製法 破甘蔗栽培 其他ノ殖産上ノ施設
付 九 次
寫 真 數 葉 之 由

(乙) 號 用 紙 (圓)

(乙 號用紙) 圓

ノ風光ハ勿論殖産工業其ノ如ク全般ノ我國經
済ニ長ノ實勢ヲ寫シテ寫ト具ヲ蒐集シテ
主要在外公館ニ備付テ隨時之ヲ利用スルハ
ル計畫ヲ進メ居リ候ニ付テハ貴社所屬
ノ代表的汽船ノ全景ト内部ヲ撮リタシ寫
ト真數葉尙^賜與ニ願フ度此段内依頼得
貴島候致事

外務省

(乙 號用紙) 圓

迄テ右寫具ニハ尚單正ニ説明ヲ附記セラルル
抄類上ル

外務省

文書課長 文書課 長
 大正十三年六月拾八日接受 (甲號用紙)
 文書課發送 大正十三年六月拾九日 發送済
 淨書 (校原稿) (淨書)
 附屬書 通

主 管 報 主 任
 大正十三年六月拾九日
 普通新聞 第六號
 大正十三年六月拾九日
 附屬書 通

受 信 人 名
 製鉄所長
 小村情報部次長

件 名
 写真入手方依頼ノ件
 名 込 縫

今般 当方ニ於テ 我國各方面事情ヲ弘ク 海外
 諸国民ニ周知セシムルノ 一助トシテ 日本特異
 ノ風光ノミナラス 殖産工業其ノ 全般ニ亘ル

公 信 案 外 務 省

(乙號用紙)

経済力増長ノ実勢ヲ 写真ニ寫シ 且ツ 蒐集
 シテ 主要在外公館ニ 備付ケ 隨時ニ利用
 セシムル計 進メ 居リ 候ニ付 貴所
 製造工場ノ 内部外景 兼 写真數葉
 市 送付 取成 度此 般及 市 依頼 候
 追テ 右 写真ニ 高 單ナル 説明ヲ 附記 相 願 度イ

外 務 省

文書課長
 文書課
 大正十三年六月拾八日接受
 (甲號用紙)
 13.6.18

主 管 情 報 部 主 任
 普通 第 〇 〇 〇 號
 大 正 十 三 年 六 月 十 日 附
 附 屬 書 通
 (起草大正十三年六月十日)
 淨書 (校原稿) (淨書)

受 信 人 名 別 記 / 通
 發 信 人 名 小 村 情 報 部 次 長

作 名 [寫 真 入 手 依 頼]
 名 込 縫

招 啓 益 々 情 通 ノ 役 奉 賀 候 陳 者 我 國
 諸 般 ノ 事 物 ヲ 弘 ヲ 海 外 諸 國 民 々 周 知 セ シ

要 再 印

公 信 案
 外 務 省
 〇 一 助 ト シ ラ 日 本 風 光 ノ ミ ナ ス 殖 産
 特 異

(乙號用紙) 四

工 業 其 他 全 般 ノ 我 國 經 済 發 展 ノ 實 勢 ヲ 寫
 ヲ 爾 寫 眞 々 ヲ 甚 集 集 シ 主 要 在 外 公 館 々 送 付 ン
 隨 時 之 ヲ 利 用 々 々 計 画 ノ 下 一 諸 方 面 ノ 協 助
 々 仰 々 居 り 候 々 付 々 右 事 情 亦 々 案 々 上
 貴 社 工 場 等 活 動 ノ 實 勢 力 ヲ 表 々 寫 眞 數
 葉 々 送 眞 々 相 成 度 此 後 亦 依 頼 得 貴 意 々
 追 々 右 寫 眞 々 簡 單 ナ ル 送 明 々 亦 附 記 補 々 送 上 々

外 務 省

(乙) 號用紙 (四)

東京府下隅田村
鐘淵紡績株式会社之長
東京府下大島町
富士瓦斯紡績株式会社之長
長野縣岡谷町
片倉製糸會社之長 片倉兼太郎
東京府下砂村
大日本製糖株式会社之長 藤山雷太
越前府有梁町一ノ一
鬼怒川水力電氣會社之長
神戸市東川崎町
川崎造船所之長 松方幸次郎
大阪市北区堂島浜通
大阪鐵工所之長 山岡順太郎

外務省

(乙) 號用紙 (四)

東京府下深川區清住町
淺野セメント株式会社之長 淺野總一郎
東京府下玉子町
王子製紙株式会社之長 藤原銀次郎
神戸市荒田町二ノ一
日本燐寸製造會社之長 (淺川倅作?)
京都市西陣
川島織物高在生川島甚正兵衛
日本橋本町一ノ二
台湾製糖株式会社東京支店長

外務省

文書課長

文書課
長
印

公
信
案

大正三年六月拾九日 接受

(甲 號用紙)

文書課發送

主任
大正三年六月廿日 發送

(起 草 大 正 三 年 七 月 十 日)

淨書

正校(原稿)

(淨書)

機密
普通

號

大正三年六月二十日

附

附屬書

通

受信

人名

日本橋區 駒形町
三井鐵山會社社長
三菱鑛業會社社長

發信

小村次長

件名

「通員入手方依頼」

名 込 縫

要再回

公 信 案

外 務 省

諸國及之周知又之助トシテ日本特異
情報部ニ於テ國百般ノ事物ヲ以テ海外
お啓 益ノ由情適ノ候奉賀候陳有今回

(乙 號用紙)

ノ風光其他産殖産工業全般ニ亘リ我國
経済力為遠ノ実勢ヲ現ス通員ヲ蒐集
シ重要在外公館ニ備付テ隨時之ヲ利用
セシムルノ計畫圖ノ下ニ諸方面ノ援助ヲ仰
居リ候ニ付テハ右ノ情由ヲ知ノ上貴社
由経営ノ各地鉱山坑道ニ實地調査
數葉由送附相願度此候由依頼得

外 務 省

REEL No. 1-0212

0059

日本燐寸製造株式會社

夏

別冊者情報 新長殿
 神戶市荒田町二丁目
 電話 營業部
 (番一三九三) (番九四三) (番八四三) (番七四三) (番六四三) 局本

日本燐寸製造株式會社

大正十三年六月三日

寫原未之者



貴客候 敬具

送ラ右圖具ニシテ 説明可申付記

附シ本願ナシ

乙號用紙(四)

外務省

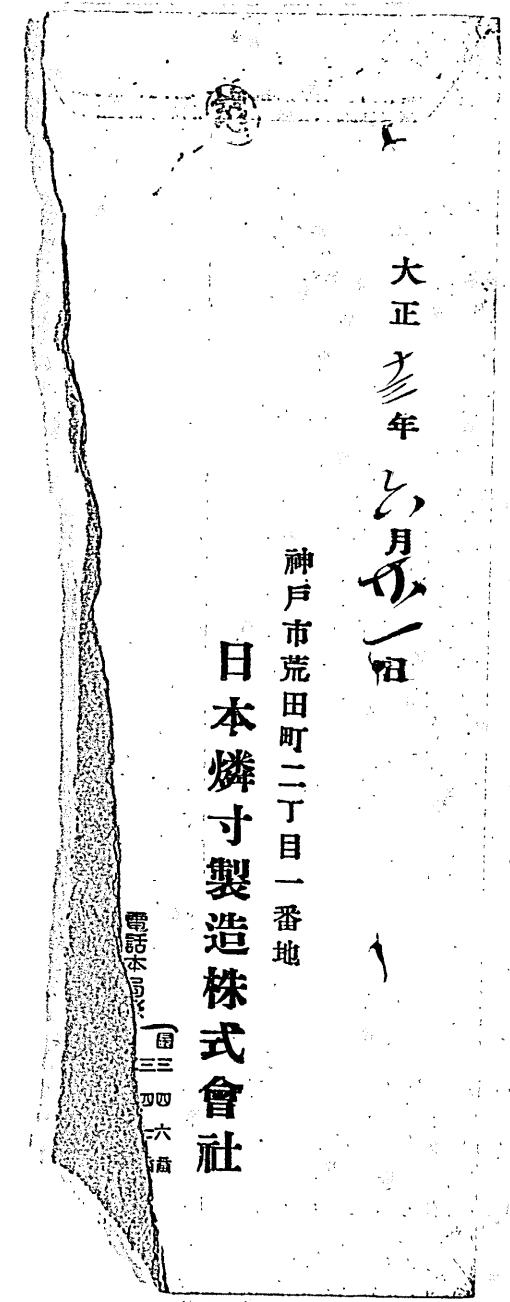
外島南
情波神出長殿

36771

1364
0-9

REEL No. 1-0212

0061



REEL No. 1-0212

0062

寫 當社東京本社
 大正十三年六月廿三日
 神戸市東尻池
 電話兵庫 八八八八
 電話時話 五三二一〇
 ヒヤウゴカキボウ 九八八八
 〇九八七六

附屬株主名簿

情 13.6.24

小 外務省情報部次長殿

常務取締役
 山口 八 左 右

拜復益々御清祥奉賀候陳者十八日付御申越ノ當社工場等活動ノ
 實勢力ヲ表ス寫眞ハ生憎持合セ無之貫意ニ副フ能ハザルヲ遺憾
 ト致候モ何カノ御參考トモ相成候ハ、幸甚ト存ジ當社ノ寫眞帖
 壹册別便御送附中上候間御查收被下度貴答迄申上候

勿々

御注意 (御寄状ハ總テ會社宛ニ御差出被下度使用人ノ宛名ニテ御差出被下候事ハ御見合セ可被下候)

大正十三年六月十八日

臺灣製糖株式會社東京出張所

小村外務省情報部次長殿
 切啓

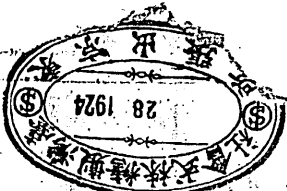
六月十八日付御申越ノ當社工場等活動ノ實勢力ヲ表ス寫眞ハ生憎持合セ無之貫意ニ副フ能ハザルヲ遺憾ト致候モ何カノ御參考トモ相成候ハ、幸甚ト存ジ當社ノ寫眞帖壹册別便御送附中上候間御查收被下度貴答迄申上候

No.

外務省
小村情報部次長殿
省務外
136 29
9-1-5

REEL No. 1-0212

0064



大正 年 月 日

東京市麴町區有樂町一丁目一番地有樂館

臺灣製糖株式會社
東京出張所

電話(丸ノ内)

長長

九九九九
三三二二
八七三一

REEL No. 1-0212

0065

普通
13.6.23

件屬書類添附

13.6.18

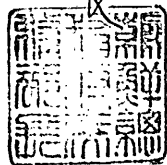
情報部第二課

續込名

添付別便

13.6.23

朝鮮總督府庶務部長



外務省情報部長殿

海外紹介用寫眞送付件

首題ノ件ニ関シ豫テ御約束申置候処最近
ニ撮影シタル寫眞各種五枚宛左記ノ通り御送
付申候間可然御利用相煩度此段及御依頼候也
記

京城帝國大學開校式狀況

開城ニ於ケル觀燈會

全
ブランク會

山田印

京城帝國大學

京城帝國大學は帝國大學令に依る綜合大學
にシテ豫科は文科及理科に命じられ大正十三年四月
開始する大正十五年四月より大學の法文部及醫
学部を開設する豫定あり
豫科の生徒は文科十八名理科十八名あり。

珍しい朝鮮の風俗
舊四月八日の観燈會

開城は佛教の隆盛も極めた高麗の舊都なるが
旧四月八日は佛祖釋迦如來の誕生日にして此の日を
浴佛日と稱し此の晚を燈夕と名づけ、市街の上又
は戸毎に燈籠を吊りし燈竿を立て、晝間は満都の
士女幼兒等盛装を凝らして遊覧し、夕刻に此の
多の燈籠に火を點して之れを觀賞する。之れ即ち四
月八日の観燈會にして朝鮮全道中開城は特に其の遺
風を傳へ般盛を見る。

珍しい朝鮮の風俗

舊五月五日のフランス會

五月五日は端午と稱し此の日満城の婦女子達は新
しい夏着の盛装を粧ひ、一年一回の女子の拵戲日
として、教徳宮(元李太祖の潛邸)に参集し、園わ子禁制
を專ら女子のみを園遊會を催し到る處の樹木
に鞦韆を吊りてフランス遊かをする。即ち年中
内房(女の室)にのみ拵居して外出せざりし女子達加此
の日ゆかりは晴れしくした氣持し初夏の一日を愉快
に遊樂する。

文書課長 文書課 長檢印

公 信 案

大正十三年七月九日 接受

附圖添付 (甲號用紙)

137.9.3

26

文書課發 大正十三年七月 拾日發送

淨書 (乙)

正校(原稿)

(淨書)

主 管 情報部 長 (主事)

主 任 情報部 第二課

大正十三年 七月

日 附

報 告 第一 一五五 號

大正十三年 七月 十日 附

附 屬 書

通

受 信 朝鮮總督府

人 名 廣務部長

發 信 外務省

人 名 情報部次長

件 名 朝鮮領令用寫真利用函件

名 込 縫

六月十日附費後、以テ海外領令用寫真各種取扱

定法送附相成、右ハ各都ノ於テ夫々、復寫ノ上

別表、通在外公館ニ送附且朝鮮事情紹介

要再回

公 信 案

外 務 省

(乙號用紙) 國

為利用方針、令相成、以テ右表、右表了、承認、取扱
此段申進候也

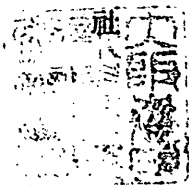
外 務 省

株式會社
大阪每日新聞
大阪北區堂裏二丁目三十六番地



大正十三年七月四日

大阪每日新聞



小村外務省情報部次長殿

拜復 益々御清祥之段奉慶賀候
 扱て客月十八日附を以て御申越相成候當社印刷場内の寫眞直ちに御届け可致管の處出來合品無之爲め撮影其他に不計日數を要し大變遅れ申候得共本日發送致し置候間御查收被成下度候

敬具

△在英國大使館	在佛國大使館	在米國大使館	在緬甸總領事館
△在獨逸大使館	在伊國大使館	在自國大使館	在瑞西公使館
在伯國大使館	在墨國公使館	(以上各二組六紙)	
在智利公使館	在和蘭公使館	在西班牙公使館	在漢堡總領事館
在リオン領事館	在シドニー總領事館	在カルカッタ總領事館	
在東港總領事館	在ホトランド領事館		
在四庫府領事館	在シヤン領事館	在ニールンアンス領事館	
在ホムル總領事館	在晚香坡領事館	在オタワ總領事館	

(以上各一組六紙) 務省

(乙號用紙)

大正七年七月四日

拜啓

川島織物所

前月十八日付内照會有之と本所工場作業の
況、閣下も寫真四葉紙を引以て便中送附し
所受納を承る可也

（函）カタログ教部方参考同封込也

京都市西陣

川島織物所主

川島甚六郎

外務省情技部長殿

有附屬物

客席外第八三號

大正十三年七月九日

日本郵船株式會社

社長 伊東米治郎

米治郎



外務省

小村情報部長殿

拜復

去ル六月十八日附貴翰ヲ以テ貴情報部ニ於テ我國風景實業其他各方
而ノ實狀ヲ示セル寫眞ヲ蒐集シ主要在外公館ニ備付ケ隨時之ヲ利用
セシムル件ニ關シ御通達ノ趣拜誦仕候、至極結構ナル御計畫ト奉存
候
就テハ御所望ニヨリ當社所屬汽船ノ寫眞中手持ノモノ取揃エ別紙目
録ノ通り十八枚使便別包ヲ以テ御送附御贈呈申上候間御受領被下度
候

日本郵船株式會社



3/1

寫眞取揃ニ手間取り送附遅延致候段不悪御寛容被下度願上候

敬具

寫眞目錄

- 一、日支聯絡船（長崎丸、上海丸）船体
- 二、箱根丸型船体
- 三、箱根丸型船内圖書室
- 四、同 運動場
- 五、同 喫煙室
- 六、同 一等一人床客室
- 七、同 二等二人床客室
- 八、同 二等食堂
- 九、同 一等食堂
- 十、同 一等二人床客室
- 十一、同 兒童室
- 十二、同 ベランダカフェー
- 十三、同 船内階段
- 十四、同 脚踏甲板
- 十五、同 船内案内所

日本郵船株式會社

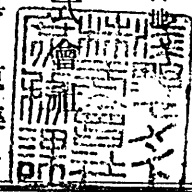
十六箱根丸型一等談話室
十七同 特別室(居室)
十八同 特別室(寢室)

日本郵船株式會社

淺本第五二四號 大正十三年七月十一日

小村外務省情報部次長殿

東京市麴町區永樂町一丁目一番地
(東京海上ビルディング六階)
淺野セメント株式會社



拜啓愈御隆昌奉賀候陳者我國經濟發展ノ實勢力ヲ表ハセル寫眞ノ蒐集ニ
付御來意ノ次第拜誦仕候就テハ當社ニ於テモ工場其他ニ關スル寫眞數葉
御送附申上度ト存候間大サ其他ニ御規定ニテモ有之候ハ、御通知被下度
此段得貴意候 勿々

(戊 號用紙) (石井 納)

十、七、一四

浅野キヤート株三會社市中

お啓陳者有先般市依頼力世 貴社買取

ノ件、ハ七月十一日附浅キ第五二四号、申身信

ニテ市ノ越ノ次第有之ハ知 右買取ノ別段

佳文

ノ御取寄之ハ由 右様申了知 御度此段

御回答申進ハ 敬具

外務省

REEL No. 1-0212

0074

調第二六〇號

大正十三年七月十四日

製鐵所長官 白 仁 武

外務省情報部次長侯爵 小村欣一殿



六月十八日附報ニ普通合第一〇六號ヲ以テ御申越相成候
本所工場寫真左記ノ通六枚説明書ト共ニ御送付申上候
條御查收有之度此段及御回答候也

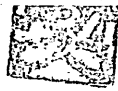
記

第一圖 燬炭爐及洗炭工場

第二圖 第一發電所内ニキロワット瓦斯發電機

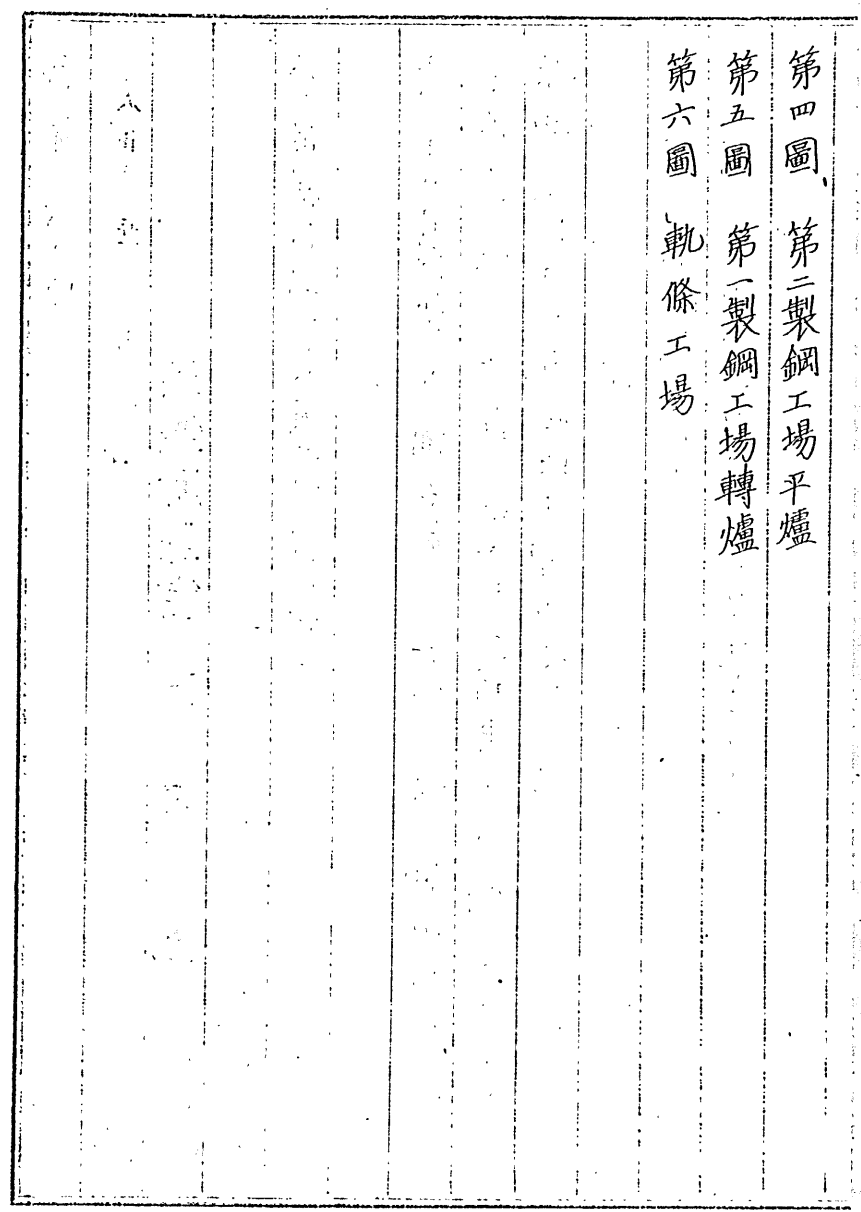
第三圖 鋸鑛爐

写真



製鐵所

第四圖 第三製鋼工場平爐
 第五圖 第一製鋼工場轉爐
 第六圖 軌條工場



寫真説明書

第一圖 骸炭爐及洗炭工場

一 骸炭爐

コッペ式骸炭炉 一ニ。基

コッパニ式骸炭炉 一ニ。基

ワルニ式骸炭炉 一五。基

黒田式骸炭炉 二九。基

三箇所

第二圖 第一發電所内ニ。著ワット瓦斯發電機

一 瓦斯機關

型式 ツウインタンデム

容量 三、〇〇〇馬力

回轉數 毎分一〇〇轉

製鐵所

第一發電機	燃料	鎔鑄瓦斯
電壓	容量	直流二五〇ワット
二〇〇〇キロワット	回轉數	每分一〇〇回轉
第三圖 鎔鑄爐	數	六基
第四圖 第二製鋼工場平爐	出銹量(日)	最大 約 三〇. 吨 最小 二二. 吨
第五圖 第一製鋼工場轉爐	鹽基性	六基
爐量	五〇屯 六〇屯	四基
酸性		

第六圖 軌條工場	一壓延機	爐量	一〇屯 モノ	二基
徑	七八〇 耗			
胴長	二二〇 耗			
回轉數	每分一四〇回轉			
一原動力	種類	汽機		
馬力	五八〇〇馬力			
回轉數	每分一四〇回轉			

製鐵所

南滿洲鐵道株式會社東京支社

東照殿第一三三號

警報部第三課

大正十三年七月十六日

南滿洲鐵道株式會社東京支社
支社長事務取扱理事 入江海平

小村外務省情報部次長殿

在外公館ニ社業紹介用引仲寫眞配付ノ件

六月十八日附首題ニ關シ松岡理事宛御申越ノ件了承當方ニテハ左
ノ如ク九月中ニ完成見込ニテ作製シ御寄贈致度豫定ノ旨弊本社ヨ
リ通知有之候間御含置願上候

左記

南滿洲鐵道株式會社東京支社

一、各國駐劄帝國大使館、支那帝國公使館、羅帝國公使館及外務
省本省、以上十箇所ニ十種（全紙引仲寫眞）



REEL No. 1-0212

0078

電

電

電

電

電

電

電

電信課長

(甲號用紙)

文書課發送

淨書

正校(原稿)

(淨書)

管主

任主

(起草大正 年 月 日)

機密第

號

大正 年 月

日附

附屬書

通

受信

人名

發信人名

情報部

件名

級込名

お啓陳有自多般貴社 眞與ノ市寄贈ノ預リ

夕ノ市依款中 遣呈出 早達 美事ナシ

又ノ數多市送付社下正ニ 相領致シ

電信案

外務省

(乙號用紙)

係此段 厚々市礼申進 候敬告

外務省

REEL No. 1-0212

0079

株式會社大阪鐵工所櫻島工場

大正十三年七月二十五日

小村外務省情報部次長殿

拜啓

愈御清榮ノ段奉慶賀候

工場 寫真ノ件

陳者本邦在外者ニ對シ我國經濟發展ノ狀況ヲ周知セラル、爲メ
工場寫真蒐集御希冀ノ由去ル六月十八日附貴信拜誦仕候就テハ
弊工場寫真左記ノ通り別便御送附申上候間御查收ノ上可然御配
慮相成度候

記

株式會社大阪鐵工所櫻島工場全景寫真

鑄造工場寫真

壹枚

全

大阪市西區櫻島町參拾番地
株式會社大阪鐵工所櫻島工場

大阪市西區櫻島町

株式會社大阪鐵工所櫻島工場

全 全 全 全

鍊鐵工場寫真

機械工場寫真

製罐工場寫真

組立工場寫真

汽船ある「ぶす丸」進水式寫真

計

貳枚

壹枚

全

全

全

八枚

大阪市西區櫻島町

(已號用紙)

大正十三年 月 日

外務省情報部

小村次長

拜啓陳者先般貴社寫真ノ御寄贈ニ預リタク御依頼申進置候處早速
美事ナルモノ多敷御送付彼下正ニ領掌致候條此段厚ク御禮申進候

敬具

外務省



三菱鑛業株式會社
地番一目丁一町洲重八區町麴市京東

拜啓時下愈御清適奉賀候陳者去ル六月二十日付貴信ヲ以テ日本特異
ノ風光其他殖産工業ノ全般ニ亘リ我國經濟力發達ノ實勢ヲ現ス寫真
ヲ蒐集シ主要公使館ニ備付ケ隨時利用セシムル計畫ノ下ニ當社ニ對
シテモ事業場所寫真送付方御申越相成拜承仕候就テハ當社事業場所
中有合セノ寫真別記ノ通り九葉並各事業場所ニ對スル大略ノ説明ヲ
付セル一九二三年版三菱營業案内一部拜送申上候間御入手被成下度
乍延引御回答迄此段得貴意候 謹言

大正十三年八月十二日

三菱鑛業株式會社

外務省情報部次長

御中

追而一九二四年版三菱營業案内ハ目下印刷中ニ有之來月上旬頃
出來ノ豫定ニ付御入用ニ候ハ、御送付可申上候 又拜

情報部第二課





三 菱 鑛 業 株 式 會 社

東 京 市 麴 町 八 重 洲 一 丁 目 一 番 地

記

- 一、生野鑛山寫真
- 一、直島製煉所
- 一、大阪製煉所
- 一、筑豐鑛業所、新入炭坑及方城炭坑
- 一、唐津鑛業所、相知炭坑寫真
- 一、高島鑛業所、高島炭坑
- 一、美唄鑛業所、美唄炭坑
- 一、牧山骸炭製造所寫真

九 一 一 一 二 〃 〃 一
 葉 葉 葉 葉 葉 葉 葉

REEL No. 1-0212

0082

何上
後
は

專庶第二八四號ノ一

情報部第二課

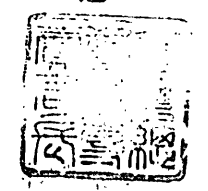
大正十三年八月二十九日

臺灣總督府專賣局長 吉岡 荒造

外務省情報部次長殿

寫真送付ノ件

六月十八日付報二普通第二五號御照會ノ寫真十葉及送付候也



187.3
三

臺灣總督府專賣局

大正十三年五月十六日



(. 1)

文第 1384 號

大正十三年十月一日

三井鑛山株式會社

外務省

情報部次長殿

製鐵冶金實況寫真送附ノ件

拜啓 陳者六月二十日付以貴狀御申越ノ右寫真ハ蒐集ニ時日ヲ要シ乍遲延本日別便ニテ左記ノ通り御送附申上候間御查收ノ上可然御取計相成度候

記

三池鑛業所採炭實況

二葉

(甲子別送)

(3)

一、神岡鑛業所コットレル電気收塵装置外景	一葉
計	一四葉

(2)

一、串木野鑛業所全景	一葉
一、製煉所全景	一葉
一、西山採鑛場	一葉
一、製煉所 <i>Mona Filter</i>	一葉
一、田川鑛業所第一坑全景	一葉
一、第三坑全景	一葉
一、神岡鑛業所鉛電解工場内部	一葉
一、熔鑛爐	一葉
一、鹿間選鑛ウイルフレー汰盤	一葉
一、鹿間選鑛圓汰盤	一葉
一、電気鉛製品	一葉

東庶庶第二九〇號

南滿洲鐵道株式會社東京支社

南滿洲鐵道株式會社東京支社

大正十三年十月九日

南滿洲鐵道株式會社東京支社
支社長事務取扱理事 入 江海平

外務省
小村情報部次長殿

在外公館ニ配付スル引伸寫眞送附ノ件

去ル七月十六日附東庶々第一三三號ヲ以テ御通知申上置候首題ノ引伸寫眞十種(百枚)別紙目錄通本日使便ヲ以テ御届ケ致候間御查收被成下度此段御通知申上候也

南滿洲鐵道株式會社東京支社

1 星ケ浦

Bird's eye View of "Star Beach" near Dalren.

大連近郊唯一ノ風光明美ノ仙境ニシテ十數年以前ハ小濱村ニ過キサリシモ明治四十二年滿鐵カ約十餘萬坪ノ海岸地域ヲ買收シテ「ヤマトホテル」ヲ經營シ夏季避暑ノ爲和洋ノ貸別莊ヲ建テ海水浴其ノ他清遊ノ地トナセリ。其ノ景勝ニ於テ湘南ノ風色ニ似タリ。

秋澄むや水にも星の算ふへく 小波

2 公主嶺農事試驗場 畜産科全景
Stock-breeding Section, Agricultural Experimental Station at Kungshuling.

畜産科ハ我國ニ於ケル年額四五千萬斤ノ羊毛ノ供給ヲ將來ハ專ラ滿蒙ニ仰カムトシテ在來緬羊ノ改良ヲ企テ。優良種ヲ輸入シテ各種類ノ適否。生産力。疾病治療ノ試験ヲナスナリ。其ノ他滿蒙古及中國馬ノ調査。豚查。豚種改良ヲモナスナリ。

南滿洲鐵道株式會社東京支社

豚が腹子をこすりつける黍がら 碧 梧桐

3 大連港ノ一部 Bird's eye View of Dairen Harbour.

大連港ハ滿蒙ノ門戸ニシテ極東唯一ノ自由貿易港ナリ。露國カ不凍港ヲ得ムト焦慮シ。西曆一千八百九十八年露清條約ニ依リ九十九箇年ノ契約ヲ以テ遼東半島ノ南端關東州ヲ租借スルヤ大商港ノ建設ヲ計畫シ築港セルモノ即チ此ノ大港ナリ。現在ハ南滿洲鐵道株式會社ノ經營ニカカルナリ。

防 波 堤 一三、四三六尺 繫船岸壁 一三、三九三尺

(十五萬噸ノ船舶ヲ收容シ得)

倉庫及上屋 八、八九八五坪 野積保管場 一、二〇、〇〇〇坪

南滿洲鐵道株式會社東京支社

4 長春商品陳列所 Commercial Museum Changchun.

滿蒙ニ於ケル商工業開發ノ爲滿鐵會社ノ設置セルモノナリ

5 大連埠頭 Beans and Bean Cake in open storing ground, Dairen Wharves.

滿洲特産物出廻リノ頻繁タル時期ニナルト倉庫内ハ貨物テ充滿シ構内ノ野天ニ貨物ヲ載積シテ保管スルノテアル。之ヲ野積保管ト云ツテキル。

6 大連ヤマトホテル Yamato Hotel, Dairen.

「ヤマトホテル」ハ大連ノ中心ノ大廣場ニアリ、滿鐵會社ノ經營ニ係ル。滿五箇年ノ星霜ヲ建築ニ費シ大正三年六月竣工セリ。近世「ルネサンス」式ノ様式ニシテ建坪六百五十坪、客室百五十。

南滿洲鐵道株式會社東京支社

室内設備ノ完全ナルハ勿論。球戲室。讀書室。理髮室等アリ。

7 撫順炭礦露天掘

Open Cut, Fushun Collieries.

炭礦ハ滿鐵ノ經營ニシテ其炭田ハ渾河ノ南方ニ位シ東西延長十哩
渾河ニ向ヒ平均三十度ノ傾斜ヲナシ炭層ノ厚サ最薄七十八尺。最
厚二百八十尺以上。含有炭量九億噸ト云ハル炭層ノ薄キ地殼ヲ掘
リ白日ノモトニ採掘作業ヲ爲ス所謂露天掘ナリ

君不見撫順之炭五里連。

千古鑿々玄之玄

厚三百尺仰天掘

深千尺入坑穿

手提小缸似青服

上下乘機以乘船

一道風熱一道冷

坑中寒暖一時遷

(稼堂陳入詩ノ一節)

南滿洲鐵道株式會社東京支社

8 鴨綠江鐵橋

Railway Bridge over Yalu River.

鐵橋ハ滿鮮兩地ヲ連絡スル交通路ニシテ。東洋一ノ稱アリ。全長
三千九十八呎。其ノ中央ノ一橋桁ハ一日四回一時間半宛離開シ船
舶ノ橋下航行ヲ便ナラシム。亦橋上ニ幅八呎ノ步道軌道ノ左右ニ
アリ。

9 吉林東洋醫院

Oriental Hospital, Kirin.

大正十二年十一月二十日工事竣工之ニ要セン經費貳拾萬九百九圓
ニシテ敷地坪數參千百貳拾四坪貳合貳勺。室數八十一室滿鐵ノ經
營スルモノナリ

10 鞍山製鐵所熔鑪

Plant Furnace of Anshan Iron
and Steel Works.

三菱礦業株式會社
東京市麹町區重洲一丁目番地

有附屬物

鑽第五一號

情報部第三課

大正十三年十月十一日



拜啓時下益々御清穆奉賀候陳者八月十五日貴信ヲ以テ御申越ニ係ル
三菱一九二四年版營業案内印刷出來仕候ニ付壹部茲許御送附致候間
御落手被成下度此段得貴意候 謹言

三菱礦業株式會社

外務省情報部
御中

大正五年四月滿鐵會社ハ鞍山一帶ノ鐵礦區ノ採掘ヲ企圖シ日支合
辦振興無限公司ヲ創業シ採鑽事業ニ當ラシメタルモ同年八月自ラ
製銑ニ製鋼事業ノ經營ニ着手シ鞍山製鐵所ヲ設置ス。
現在五四〇立方米突 最新式ノ熔鑽爐二基アリ。

南滿洲鐵道株式會社東京支社

町部綾郡鹿何府都京
社 會 式 株 絲 製 是 郡
(番 式) 國 (番 差) 話 電

大正十四年三月二日

芦田 均 殿

郡是製絲株式會社

會社寫真帳送附之件

工場長

拜啓春寒之候愈々御清穆奉賀候 陳者豫而小野氏ヲ通シテ御申
 越相受居候會社寫真帳出來候ニ付以別便御送附申上候間御查收
 被下度 若シ不備ノ點等有之候ハ、御回示ノ程願上候 敬 具



王子製紙株式會社

大正十四年七月二十五日

王子製紙株式會社

社長 藤原銀次郎

小村外務省情報部次長殿

拜復愈御清榮奉賀候陳者昨年六月十八日附ヲ以テ弊社工場寫真提出可致様御申越
 ノ趣敬承早速拜呈可仕筈ノ處東京本社ニ於テ保管致居候寫真ハ先年震災ニテ全部
 燒失仕候ニ付寫真取纏方手間取リ候爲メ非常ノ延引ト相成リ申譯無之候漸ク此頃
 相整候間別冊寫真帖二冊作製御送附申上候間御查收被下度此段得貴意候

敬 具

外務省
情報部
甲申

REEL No. 1-0212

0091



大正

年

月

日

東京市麴町區永樂町一丁目一番地
郵船ビルディング七階

王子製紙株式會社東京出張所

電話半込

四五六六番
六七八九番
六七八五番
六七八六番
六七三三番
六七二七番
六七二一七番

REEL No. 1-0212

0092

